

第4回 親子禊錬成会 開催



滝名川での禊

巖 神 青

8月8日(木)に第4回親子禊錬成会を本年も開催した。この錬成会は当会の活動方針・震災復興活動に掲げられている「子供たちとの交流」を目的として、県内各地を持ち回りにて開催している。

本年は紫波町鎮座、志和八幡宮様の多大なご配慮をいただき、盛大且つ賑やかに開催することが出来た。子供達の参加も53名と多く、お互いに学びのあった錬成会であった。

第1講では、菅原副会長が神社という聖なる空間の意味と役割、境内や社殿等講義した。子供達

はこの講義を聞き、境内にある建物の存在理由を理解することで、神社への興味深く聞いていたようだ。中には「自分たちの住む地域の神社に改めて参拝してみたいです」といった感想もあった。



第4回親子禊練成会日程

於 志和八幡宮

滝名川

9時 正式参拝・開講式

10時15分 第1講

「神社と神様のお話」

講師 菅原副会長

10時30分 第2講

「私たちのごはん」

講師 田村地区委員

11時15分 第3講「禊」

講師 荒木錬成行事道彦

12時30分 昼食

レクリエーション

14時45分 閉講式

第2講では、田村地区委員が食べ物の大切さ、またそれらに感謝する気持ちや忘れてはならないことを講義した。子供達は、食べ物の恵みをくださる神様の存在、また苦勞して食べ物を育ててくれる人やご飯を作ってくれる家族の存在、また、食べ物になってくれるたぐさんの命の存在に感謝することの大切さを改めて感じているようであった。

そして、一番のメインとなる第3講では、滝名川にて「禊」を行った。子供達は当会顧問でもある荒木講師の「禊ぎは水浴びと違い、心と体のお清めをするために行います」との言葉を胸に、身と心を清めるため元気いっぱいになり禊行事に取り組んだ。

その後は、昼食に会員が作ったカレーライスと焼きそばを頂き、午後か

らはレクリエーションを行った。今回は境内にて宝探し大会を行い、続いて恒例のスイカ割り大会を開催し、境内は子供達の無邪気な笑顔と歓声に包まれた。

子供達からは「禊を元氣いっぱいやって楽しかった」「禊をして気持ち良かった」といった素直な感想をもらい、毎年参加している子供たちからは「新しい友達ができたい」「また来年も参加したい」という感想を聞くことができ、次代を担う子供の教化育成と共に神社を少しでも身近に感じて貰う一助になったのではと実感する禊練成会となった。



東日本大震災復興活動 山田町 関口神社支援活動

東日本大震災発生以来、各地よりの要請に基づき行っている復興活動は、7月6日、山田町の関口神社（佐藤明德宮司）にて、宵宮祭の助勢として、復興餅つき及び餅販売活動を行った。

勝田、伊藤両副会長をはじめ、5名の会員が奉仕した他、青森・秋田の神道青年会員も応援に駆けつけていただき、さらに秋田県からは名物である「ババヘアアイス」を参拝者にふるまっていた。



も増加し、会員は疲れを忘れて餅つき作業に没頭した。また、参拝者も老若男女問わず餅つきに参加していたいただき、活動を通して氏子崇敬者の方々と交流をする機会となった。

事業頒布品頒布活動

※実施日

○6月28日

神職大会時

於 岩手県神社庁

○8月28日

県神社関係者大会時

於 ホテル紅葉館

例年開催されている神職大会時の頒布活動に加え、本年は岩手県神社関係者大会において、勝田副会長（事業委員長）以下、大会へ参加した会員による事業頒布品頒布活動が行われた。

神札袋・総代の章・祈願印といった従来の頒布品の他、本年度新規事業頒布品「千歳飴」「リバーシブル防寒作業衣」に対

し、神職のみならず、大会へ参加された総代の皆様に興味を示していただく事ができた。又、大会へ参加された総代の方より「総代向けのものはないか」とのご意見を頂戴し、今後の新規事業頒布品の課題が見つけられた良い機会となった。

千歳飴については、以前より当会へ寄せられていた入手に関するご意見・ご質問に答えるべく本年より取扱いを開始した新規頒布品である。時節柄、各社頭での取扱いについてご検討いただきたくお願いを申し上げると共に、当会事業の更なる推進に努めたいと思う。

岩手県神道青年会 新規事業頒布品
千歳飴のご案内

子供の健やかなる成長と長寿を願う七五三。そのお祝いにかかせない千歳飴ですが、昨年より入手に関する御質問、御意見が多数、当会に寄せられました。そこで、こうした御意見に答えるべく当会では、事業頒布品として「千歳飴」を取り扱う事と致しました。
七五三の時期も間近に迫っているところではございますが、何卒ご検討いただきますようお願い申し上げます。



【千歳飴】
短い飴 長さ12.5cm × 幅2cm
長い飴 長さ15cm × 幅2cm
【千歳飴袋】
長さ59.6cm × 幅12.3cm



昔懐かしい
手作り千歳飴

○単価	短い飴	長い飴
1本 (千歳飴袋付き)	110円	120円
2本入り (千歳飴袋付き)	170円	190円
3本入り (千歳飴袋付き)	230円	260円
4本入り (千歳飴袋付き)	290円	330円
5本入り (千歳飴袋付き)	350円	400円

※千歳飴袋無しの場合は、50円引きになります。

○納品の状態
・ご希望の本数の飴と乾燥剤をナイロンの袋に封入し、千歳飴袋に入れた状態でお送り致します。

○注意点
・飴は1本ずつ包装されておりません
・全て手作りのため、長さや太さに多少の差があります。

○お申込先・
お問い合わせ先

岩手県神道青年会事務局 担当 千葉
〒020-0107 盛岡市八幡町十三番一
電話 〇一九一六五二一五二二
FAX 〇一九一六五二一五二二
E-mail ch_knyk_3@hotmail.com

祝 ぎ誕生

上閉伊支部

花輪 宗嗣 地区委員

長男 宗佑 君

久慈支部

播磨 豊和 地区委員

四女 麗和ちゃん

平成25年度下半期事業計画

10月23日～24日

神道青年全国協議会

東日本大震災復興支援

活動(岩手県開催)

10月26日

盛岡少年刑務所

収穫感謝祭

11月20日

盛岡少年院

収穫感謝祭

・編集後記

今号より広報委員会が中心となり編集いたします。ご意見ご感想お寄せ下さい(威)時の流れは本当に早いもので、今年も残すところわずか三ヶ月となりました。会員の皆様にはお忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、10月・11月は青年会の事業活動も大詰めとなります。真の復興を遂げ、美しい東北・岩手を取り戻す為、今後とも本会諸活動に会員の皆様の温かいご理解とご協力、積極的な参加をお願い申し上げます。(祥)

発行 岩手県神道青年会
住所 盛岡市八幡町十三番一 盛岡八幡宮社務所内
電話 〇一九一六五二一五二二
FAX 〇一九一六五二一五二二